

# 96歳現役医師 カジマヤー祝

【宜野湾】現役医師としては県内最高齢といわれる新緑会あかみちクリニック（うるま市）の田中旨夫院長がことし96歳のカジマヤーを迎え、祝賀会が26日、市真志喜のラグナガーデンホテルで盛大に開かれた。田中さんは「あと10年は診療を続けたい」とさらなる意欲を見せた。宜野湾ロータリークラブが主催した。

## 宜野湾の田中さん

### 「あと10年は診療続けたい」

田中さんは市真栄原在住。1918年、台湾の台北市出身。21年間、台北で産婦人科を開業していた。75年からは東風平町（現八重瀬町）内の

病院や那覇市救急診療所などに勤務した。

その後、上海中医学院や世界保健機関（WHO）のほりきょうの東洋医学専修班を

卒業した。

現在も週5日勤務。内科や婦人科などをみて、アンチエイジングに効果があるというプラセンタ（胎盤）療法を担



関係者から祝福の花束を贈られる田中旨夫医師（右）26日、宜野湾市真志喜・ラグナガーデンホテル

当している。

祝賀会では、田中さんが入場すると会場から大きな拍手が起きた。主催者を代表して宜野湾ロータリークラブの天願勇会長が「田中さんのかくしゃくとした若さにあやかり、この元気を沖縄から世界に発信しよう」とあいさつ。

県立中部病院の松本廣嗣院長が田中さんのプロフィールや

東洋医学にまつわるエピソードを紹介した。関係者さんに花束と記念品を祝宴の舞が披露された。田中さんは、謝辞で

なことはやってない。る肺結核も悪い、胆管発症し生死をさまよそのつど周囲の温かしがあった。自分で認めたら年取ってしま分は薬しくて若いんだに年取ったと言わないしている。それが大病でも元気な秘訣かな」

（翁長良勝浦

## 支援 金造成

